

「近^{きん}助^{じょ}」の備え 市長と被災経験者が語る、

震災の教訓を次世代に伝えるために

市長…震災の教訓を次世代に伝えるために必要なことは何でしょうか？

渡邊…慰霊碑等の石碑を建てるだけではだれも語ってくれませんが、人が言葉で伝えることが重要です。特に子どもたちに教訓を伝えれば、次世代のリーダーとして防災意識を広めてくれるでしょう。

市長…そうですね。地域で開催している防災訓練等で意識を高めたり、震災による被害を次世代へ語り継ぐ仕組みをつくることも考えていく必要があると思います。



自治区への加入は、備えの第二步

市長…まずは地域が開催する行事に参加してみたり、自治区に加入して、地域でつながりを深めることも、防災の第歩になるということですね。

渡邊…そのとおりです。近所での「おはよう」「ありがと」の声かけが、有事の際の命を守る力になります。今日からぜひ行動を始めてみてください。



～「自治区」は、あなたにいちばん身近な地域の集まり～

自治区って何？

“ずっと住み続けたいまち”をつくる組織です。地域のみんなが気持ちよく暮らせるように、さまざまな地域課題に協力して取り組むのが自治区の大きな役割となっています。必要に応じて行政とも連携しながら、それぞれの地域の特性に合わせて多様な活動をしています。



みなさんがお住まいの地域を、「ずっと住み続けたい」「住んでよかったと思う」まちにしていきたいませんか？

〈お住まいの自治区、区長の確認〉

お住まいの地域の自治区や区長さんは、右記QRコードからもご確認いただけます。

【確認手順】

画面左端にある「≫」を開く⇒テーマ変更⇒地域の暮らし内の「自治区」を選択してご覧ください（「詳細を見る」を押すと、区長さんの名前をご確認いただけます）。
※自治区への加入に関するご相談や区長さんのご連絡先は、市民協働課にご連絡ください。



【問合わせ】市民協働課 ☎84-0609